

びわこ成蹊スポーツ大学 2026年度グローバル・フィールド・スタディ

No.	プログラム名	内容	担当教員	定員	実施時期	実施場所	概算費用		
							総額	奨学金	学生負担
1	USA・マーセッドカレッジとのEnglish Communicationを含むスポーツ交流および、現地留学生との交流	<p>「国際的に通用する新しいスポーツ文化を創造すること」のできる人材育成を目的に、アメリカにおけるスポーツを「する人」「見る人」「ささえる人」の活動と触れ合い、学ぶことで今後益々、「グローバル化されると予想される社会の中で活躍できる人材の育成」を目的とする。国ごと、あるいは地域ごとのスポーツ文化を学び、将来の国内スポーツ文化醸成を支える為の知見を得る。</p> <p>語学力の習得の必要性を認識する一助とする。</p> <p>また、スポーツ現場における女性の活躍という観点からも、現場での活動の実際を学ぶことで、女性のスポーツ界における活動・活躍の実際を知り、今後の女性スポーツ活性化への知見の一助とする。</p> <p>①事前学習 現地の歴史・文化、スポーツ文化についての学修、発表を行う。 簡単なコミュニケーションツールとして、言語技術と英語の学修をアクティブラーニング形式で行う。 渡航2～3週間前に、現地での計画をもとに、各個人が研修における「経験学習」のテーマを設定し、研修内容からアクションリサーチテーマを設定する</p> <p>②現地学習 訪問先におけるスポーツ環境、タレント育成について学修する アクティブラーニング・デーとして英語をツールとしたコミュニケーション活動（スポーツ活動、サッカー交流を想定）をプロスポーツの興行視察から、スポーツの社会的・教育的・経済的価値を学修する 女性のスポーツ界における女性の社会進出およびジェンダー平等について学修する マーセッドカレッジおよび、現地の留学生やスポーツ団体と交流をする</p> <p>③事後学習 アダルトラーニングによる学修の促進（振り返りと報告会を実施）</p>	坂尾 美穂	25	2027年2月22日～2月27日 (6日間)	マーセッドカレッジ (アメリカ合衆国)	¥401,000	¥-80,000	¥321,000
2	台湾協定校（台湾国立体育大学・台東大学・高雄師範大学）とのEnglish Communicationを含むスポーツ交流による国際スポーツ人材の育成研修	<p>「国際的に通用する新しいスポーツ文化を創造すること」のできる人材育成を目的に、アメリカにおけるスポーツを「する人」「見る人」「ささえる人」の活動と触れ合い、学ぶことで今後益々、「グローバル化されると予想される社会の中で活躍できる人材の育成」を目的とする。国ごと、あるいは地域ごとのスポーツ文化を学び、将来の国内スポーツ文化醸成を支える為の知見を得る。</p> <p>語学力の習得の必要性を認識する一助とする。</p> <p>また、スポーツ現場における女性の活躍という観点からも、現場での活動の実際を学ぶことで、女性のスポーツ界における活動・活躍の実際を知り、今後の女性スポーツ活性化への知見の一助とする。</p> <p>①事前学習 現地の歴史・文化、スポーツ文化についての学修、発表を行う。 簡単なコミュニケーションツールとして、言語技術と英語の学修をアクティブラーニング形式で行う。 渡航2～3週間前に、現地での計画をもとに、各個人が研修における「経験学習」のテーマを設定し、研修内容からアクションリサーチテーマを設定する</p> <p>②現地学習 訪問先におけるスポーツ環境、タレント育成について学修する アクティブラーニング・デーとして英語をツールとしたコミュニケーション活動（スポーツ活動、サッカー交流を想定）をプロスポーツの興行視察から、スポーツの社会的・教育的・経済的価値を学修する 女性のスポーツ界における女性の社会進出およびジェンダー平等について学修する 協定校および、現地のスポーツ団体と交流をする</p> <p>③事後学習 アダルトラーニングによる学修の促進（振り返りと報告会を実施）</p>	坂尾 美穂	25	2027年3月14日～3月19日 (6日間)	台湾協定校 (台北、台中)	¥161,000	¥-32,000	¥129,000
3	メルボルン・ヴィクトリア大学および近隣小学校でのスポーツ文化研修	<p>本学はオーストラリア・メルボルンにあるヴィクトリア大学と国際交流協定を結んでいる。ヴィクトリア大学にはスポーツバイオメカニクスやスポーツ生理学の研究室があり、最新の研究が行われている。本研修の一つ目の目的は、ヴィクトリア大学で最新の研究に触れ、現地教員やスタッフとディスカッションを行うことである。二つ目の目的は、参加学生によるヴィクトリア大学学生へのスポーツのワークショップを行うことである。三つ目の目的は、近隣の小学校の授業に参加し、体育の授業見学や日本語の授業の補助をすることで、オーストラリアの小学校の体育・スポーツ文化に触れることである。</p> <p>時期は2027年9月中旬を予定している。本プログラムでは、現地大学生や小学生とふれあいながら、学生達が主体となってワークショップまたは授業を行い、英語力の向上はもちろん、英語でコミュニケーションを取ることの意味・意義を深く理解することが目的である。</p> <p>①事前学習 ヴィクトリア大学で行うワークショップの準備として、それに必要な英語を学修し、現地学生に伝わるようなワークショップの構想を練る。また、実際に英語でリハーサルを繰り返し、しっかり伝える事のできるワークショップを作り上げる。 小学校では日本語の授業に参加させてもらう。実際に小学生たちに日本語（単語程度だが）を英語で理解してもらう必要があるため、そのための準備を行う。</p> <p>②現地学習 ヴィクトリア大学の施設見学と現地教員・スタッフとのディスカッション（主にバイオメカニクス）を行う。また、現地学生との交流を行う。近隣の小学校で日本語の授業に参加し、小学生に日本語を英語で教える。 メルボルンは国際的なスポーツ施設がたくさんある（テニスの全豪オープン会場や、F-1会場など）ので、それらの施設を見学してオーストラリアのスポーツ文化に触れる。</p> <p>③事後学習 帰国後は報告会を行い、今後にどのように生かしていくかを発表する。</p>	高橋 佳三	10	2026年9月7日～9月15日 (9日間)	オーストラリア (メルボルン)	¥340,000	¥-68,000	¥272,000